

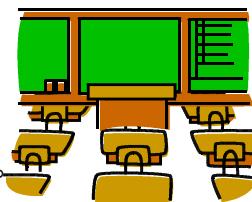
学級活動(1)授業実践のための“学級会グッズ”的活用

埼玉県教育局東部教育事務所

東部教育事務所では、小・中学校における学級活動（1）の話し合い活動「学級会」の活性化・一般化を図るため、文部科学省（国立教育政策研究所）刊行の「特別活動リーフレット」に準拠した、いわゆる“学級会グッズ”的資料を作成して紹介しています。

コンテンツ「**学級活動(1)授業実践のための“学級会グッズ”**」には、板書に提示使用できる短冊等の電子データ（PDFファイル）を掲載していますので、各学校で御活用ください。

※ホームページ上で紹介・提供しているものはあくまでもサンプルに過ぎません。ダウンロードして、そのまま使用できますが、各学校（学年・学級）の実態や特色に応じ、独自の工夫を加えるとよいでしょう。



学級会グッズ（準備しておくとよいもの）

学級会をスムーズに進行するためには、各種の表示やカードなど、いわゆる“学級会グッズ”を活用して、児童生徒が話し合い活動に自主的に取り組むことができるようになります。

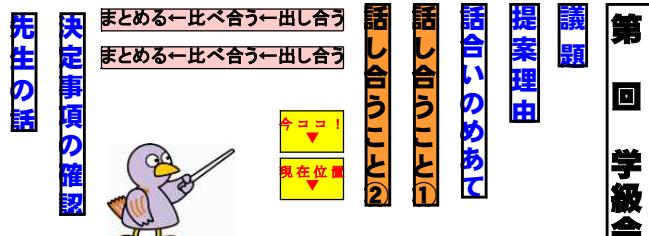
ここでは、学校現場で一般的に使われている“学級会グッズ”を紹介します。

1 話合いの流れの表示

板書に提示する本時の活動の流れを示すガイド短冊です（右図参照）。

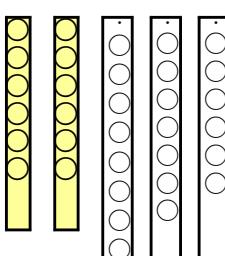
学級会のタイトル、議題、提案理由、話し合いのめあて、話し合うこと（話し合いの柱）、話し合いの段階（出し合う、比べ合う、まとめる）、現在の話し合いの位置

確認表示（今ココ！）、決まったことの確認、先生の話などの表示を作成し、学級会を行う際のガイド表示とします。



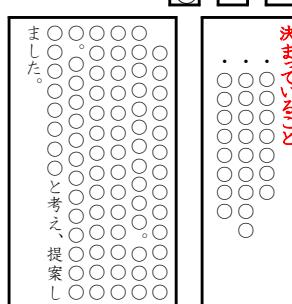
2 意見等を書き入れる短冊

話し合う内容や話し合いで出た意見等を記入して、黒板に提示する短冊です。無地の紙をラミネート加工して、水性ペン（ホワイトボードマーカー等）で記入すれば繰り返し使うことができます。



3 提案理由や決まっていることの掲示

マグネット付きのミニ黒板やミニホワイトボード、画用紙や模造紙などを使用して、提案理由や本時までに決まっていることを書き込んで、黒板等に提示します。



4 賛成や反対、決定などのマーク

賛成や反対意見が出るごとに板書の意見を書いた短冊に付けていくものです。決定マークもあるとよいでしょう。

色付きのマグネットなどがよく利用されます。

●賛成 ●反対 ★決定



5 時間の目安

話し合い活動の時間の目安（進行予定時刻）を指示するための表示です。

6 役割分担を示すプレート

本時の活動を進行する計画委員（学級活動委員）の役割（司会、黒板記録、ノート記録）を示すプレートです。当日の座席札として、みんなに分かるように提示します。

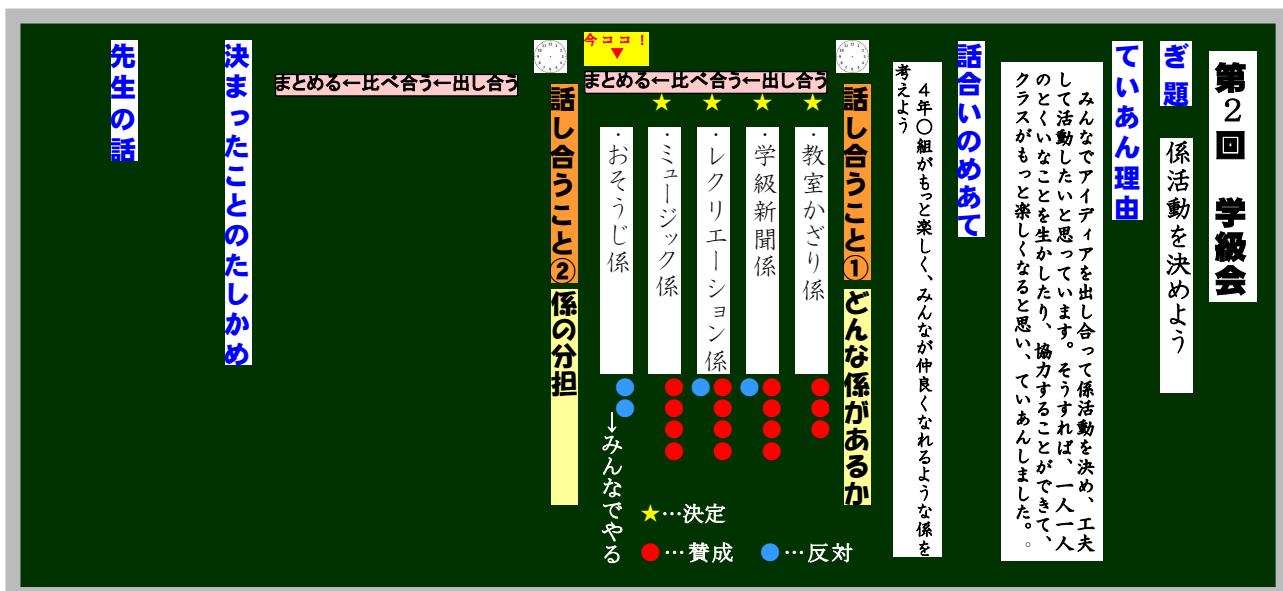


学級会グッズ（板書用）の使用例

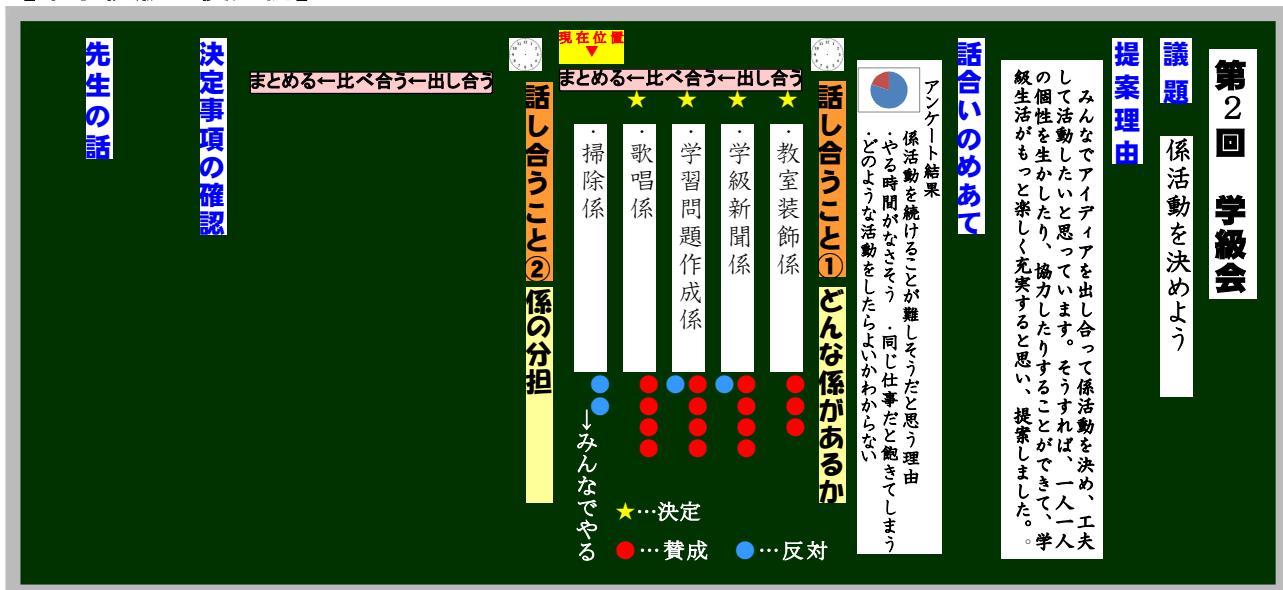
※小・中学校共通の議題の使用例で示します。

参考：埼玉県教育委員会「学級活動リーフレット」

【小学校版の使用例】



【中学校版の使用例】



議題

本時だけでなく、事前・本時・事後の活動の一連の流れを議題ととらえます。

提案理由

「何のために話し合うのか」を明確にし、事前に共通理解を図ります。

話し合いのめあて

必要に応じて、事前の計画委員会（学級活動委員会）において、合意形成のための拠り所や話し合い方、ポイントなどをめあてとして設定します。

話し合うこと

一単位時間（45分、50分）をかけて話し合う価値のある内容に絞ります。基本的には、「何をするか」「どのようにするか」「仕事分担はどうするか」の2～3つの大きな課題を話し合います。

出し合う、比べ合う、まとめる

意見を短冊に操作しながら分類・整理して比べやすくします。賛成・反対マークを、色別して貼っていくなど、話し合いの過程が分かるようにします。「出し合う→比べ合う→まとめる（決める）」話し合いの流れが分かるように示し、見通しをもって時間内に決めるができるようにします。

決定事項の確認

本時の話し合いで決定したことを計画委員（学級活動委員）が読み上げ、全員で確認します。

先生の話

本時の成果と課題を述べ、進行役へのねぎらいとともに実践意欲を高める声掛けを行います。